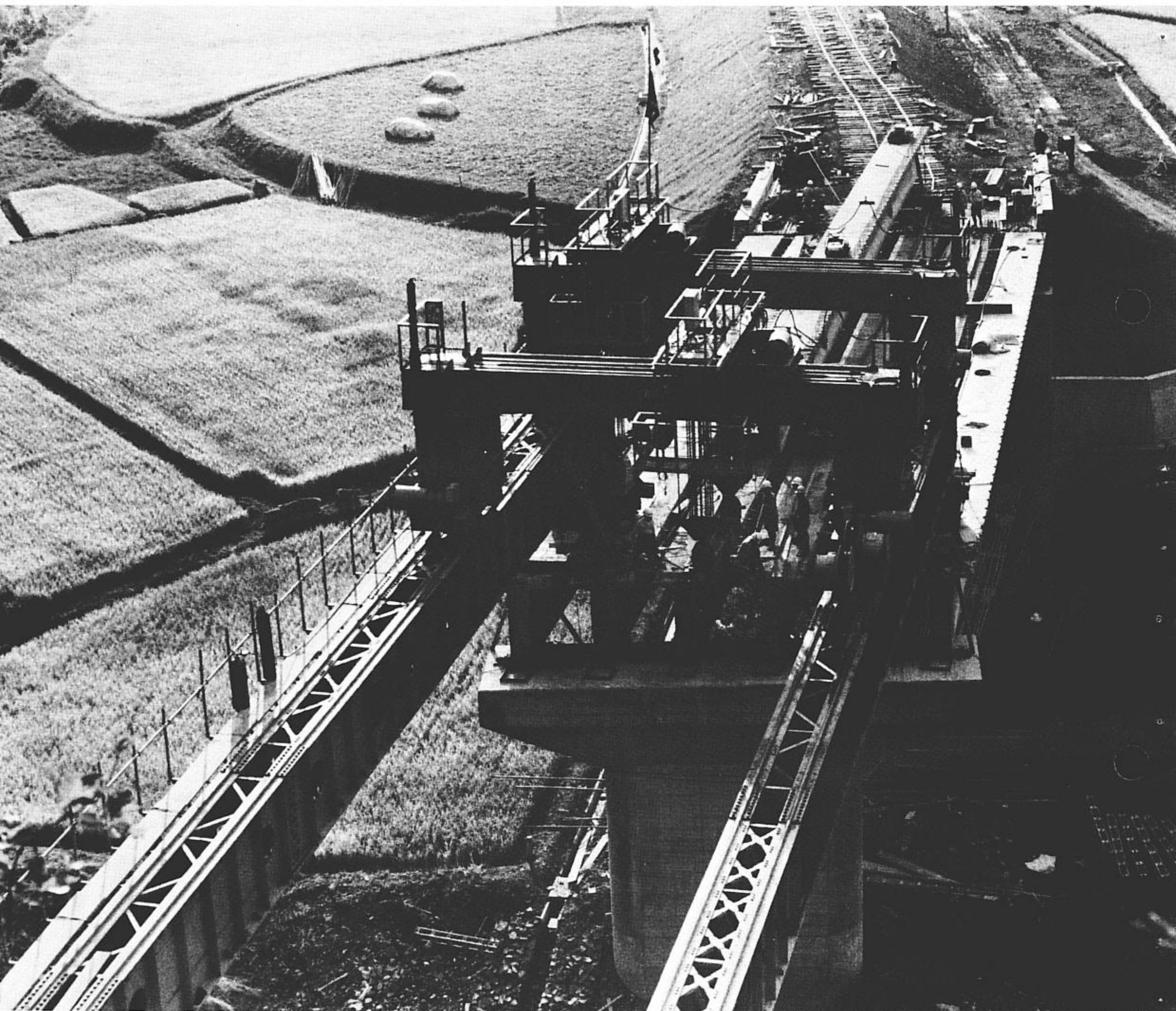


東由利町報

No. 307 昭和55年10月1日発行 昭和42年7月18日第3種郵便物認可 毎月1日発行

町の生活目標

- 1.町の心は明るいあいさつ
- 2.きれいな町で健康なくらし
- 3.ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
- 4.学び・働き・助けあう・ゆたかな心



No. 307

10
/ 1

《着々進む国道107号線工事》

町の中央を走る国道107号線の工事が、今、着々と進められています。

同工区は、7カ年計画で総事業費12億5千万円を投じ、西の浜から横渡までの延長2,900mを全幅11mに改良するもので、途中わら沢地内から横渡地内までは、トンネル2カ所、橋梁一橋を含む延長1,300mのバイパスとなります。

現在、盛土工事のほか、洞門の橋の下流で延長73mの横渡橋、架設工事、わら沢でトンネル掘削のための工事が進められています。

同線の改良整備は、過疎化への歯止め、町発展の上で重要な意味を持ち、一日も早い完成が待ちられます。

水稻三分の一が不穏障害

町冷害対策本部を設置
推定被害額は三億七千万円



五十一年冷害を上回る被害

現地調査は、全町の水田を七十五団地に分け、それぞれの団地ごとに不穏の状態、イモチ病の発生状況を検見、集計しました。

この結果、被害は「アキビカリ」「キヨニシキ」といった品種が多く、不穏障害は、山間地だけでなく平担地にも見られ、不穏率三十箇以上のお水田は、町水稻作付総面積の三分の一にあたる三百四十八ヶ所、うち収穫皆無を含む不穏率七十箇以上は四十ヶ所、という数字となりました。

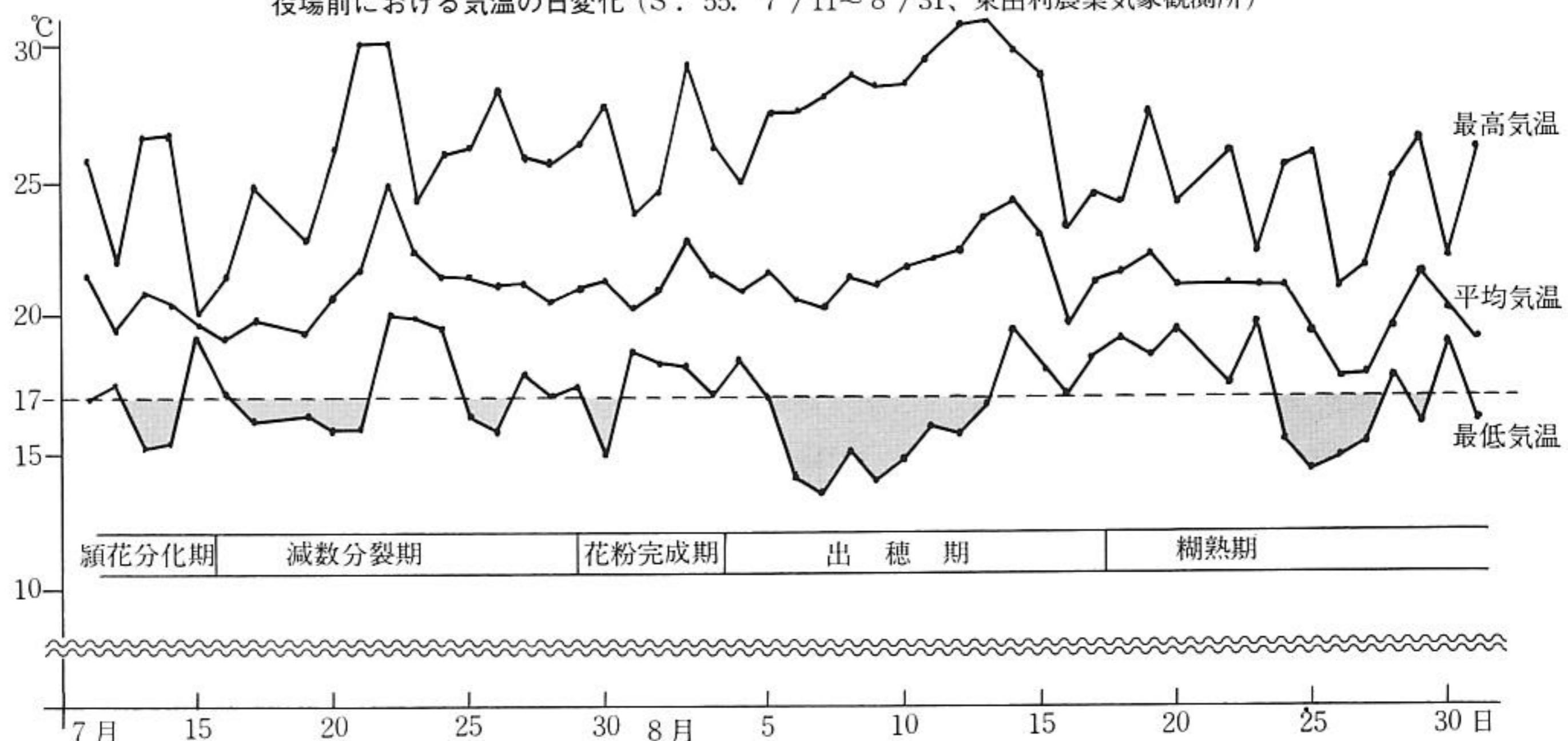
障害型プラス

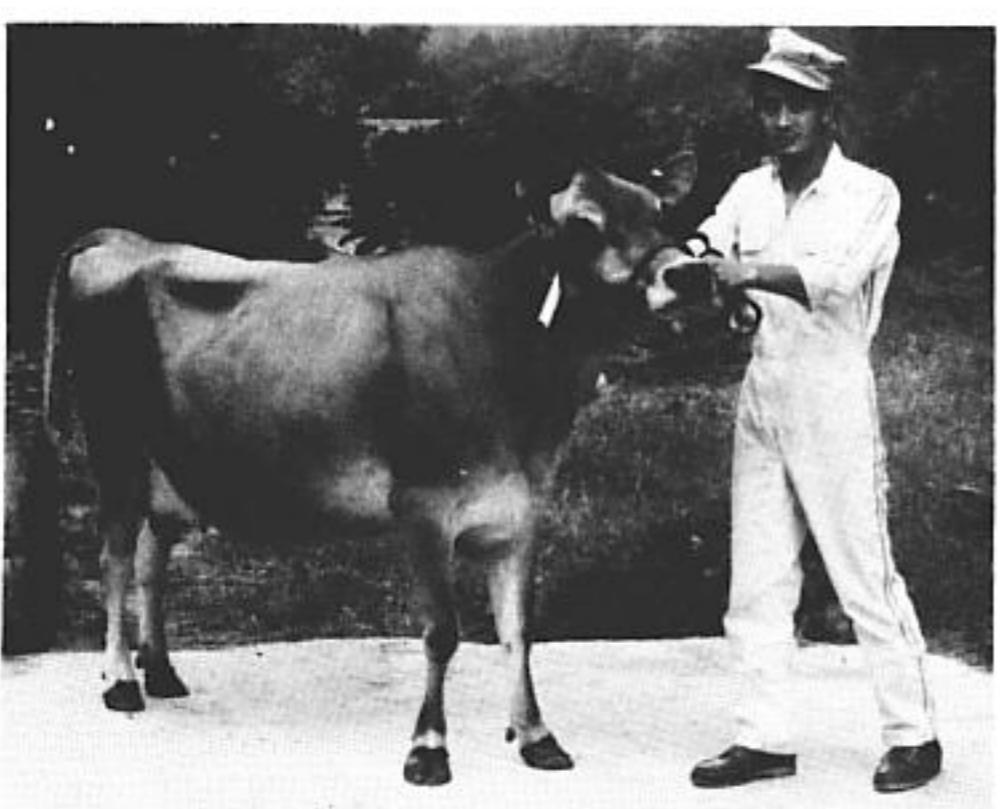
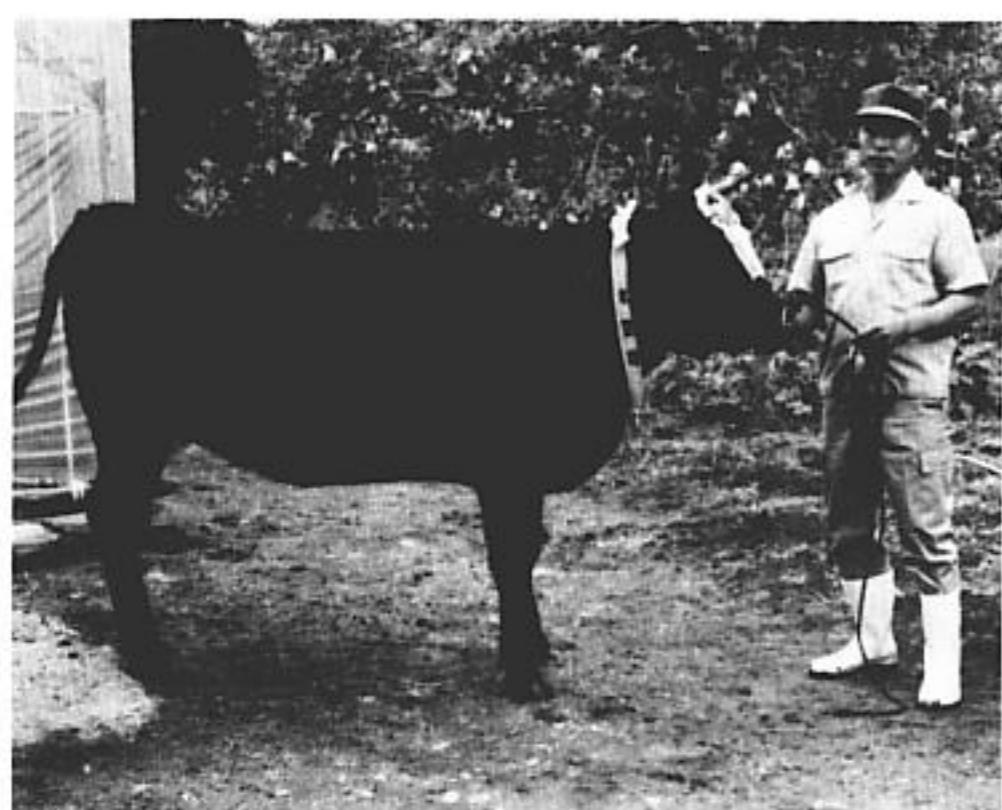
遅延型の冷害

一方、イモチ病の発生は、作付総面積の約十五箇にあたる百五十四ヶ所となっています。これらを収量、金額に推計換算してみると、収量で目にはよく出来た稻穂に見えるが、太陽に透かしてみると不穏粒がある。こうした冷害に追いついていきました。

五十一年冷害を上回る被害——例年ならば黄金色の稻穂が重く首を垂れている時期なのに、今年は、七月以降の異常低温と著しい日照不足により、不穏障害、登熟の遅れが顕在化し、喜びの秋に暗い実りとなつて農家の肩に重くのしかかってきています。こうした事態に町では、九月十七日、議会議員、農協役職員、農業委員、共済組合町担当理事、町職員ら五十二人が七班に分かれ、町冷害現地調査を実施しました。この結果、地域によつてはバラつきがあるものの、町全体では約二十五箇の減収になることが見込まれ、同月十九日、「東由利町冷害対策本部」を設置、被害を最小限にくくことにしました。

役場前における気温の日変化 (S. 55. 7 / 11~8 / 31、東由利農業気象観測所)





上：優等賞に輝いた“ふくはな5の1号”と阿部さん
中：1等賞2席の“よしさかえ1号”と畠山さん
下：1等賞の“ジャージー種”と畠山さん

第六十九回秋田県畜産共進会は、九月四日から六日までの三日間、河辺郡河辺町戸島の県中央家畜市場構内で開催され、本町からも、由利畜産共進会で上位入賞を果した肉用牛二頭、乳用牛一頭、計三頭が出陳されました。

県共とあつて、出陳された家畜のどれもがいずれ劣らぬものばかりで、審査員も順位の決定に苦慮する場面も見られましたが、それぞれ慎重かつ厳しい審査の結果、肉用牛第二類・黒毛和種若牛区（七カ月以上二十カ月未満）で、

阿部仁志さん（岩館）所有の“ふくはな5の1号”が見事、優等賞に輝いたのを始め、畠山藤作さん（土場沢）所有の“よしさかえ1号”が一等の二席、乳用牛・ジャージー種の部で畠山克司さん（島）所有の“ウイローロマンスウツ

ド”が一等、と三頭ともトツプ入賞を果たし、本町の飼養技術水準が県下でも高い水準にあることを示すとともに、

“畜産東由利”的名を強烈に印象づけました。

冷害調査の結果、一四・六五減収と数字になっている。これは九月十七日時点の数字である。

畜産共進会

こうした事態を重くみた町では、九月十九日、町・議会・

阿部仁志さんの（黒毛和種）が優等賞に

ふくはな5の1号（種・若牛）

畠山克司さん（黒毛和種）

は一等賞

阿部さんは、入賞メダルを首にした愛牛のたずなをしつかりと握り、喜びをかみしめながら「：これを励みに、

ささらに良い東由利牛の生産に努力し、微力ながらも“畜産の里”づくりに頑張って行きたい」と、今後の畜産経営に新たなファイトを燃やしていました。

冷害対策は、国の災害激甚地の指定と、天災融資法の発動が基本となるが、町としては、国県の施策に応しながら、本町の冷害の実態に全力で対策をする考

打をかけるような“イモチ病”的の発生は、農家にとつてダブルパンチならぬトリプルパンチとなつて大きなダメージを与えたと言えます。

総合的冷害

対策を

を設置し、①天災融資法の早期発動②農業共済金の早期支払い③自作農維持資金の融資枠の拡大④既借入れ各種制度資金の返済条件の緩和⑤規格外米及び等外米の政府全量買上げ——など十一項目にわ

たつて、被災農家救済のために諸対策を講じるよう国県に要望しました。

このほか同本部では、適期刈取り、乾燥、調整といつた技術指導から、生産・経営指導、次期生産のための資金・種子等の確保など、総合的冷害対策について具体的に検討していくことにしています。

たつて、被災農家救済のために諸対策を講じるよう国県に要望しました。

ド”が一等、と三頭ともトツプ入賞を果たし、本町の飼養技術水準が県下でも高い水準にあることを示すとともに、“畜産東由利”的名を強烈に印象づけました。

行政改革は、財政上よりも政治の姿勢として必要である。六〇年まで三万七千人を減員し、特殊法人一八を統合する。行政の業務量を減らし、民間に委譲出来るものは委譲する。地方公共体では、この一〇年間で公務員が七〇万人増えている。教師、警察、消防等を除いても二八万人増えているので、計画的に減員しなければならない。

○ 簡単に占領という既成事実を許さぬ防衛力が必要である。

○ エネルギーは、現在石油依存度が七一%であるが、これを五〇%までにしたい。

○ アメリカ対比のGNP△一九六〇年 九月△一九七〇年二〇%△一九七九年 四六%個人所得は、アメリカ比七五%までになつていている。

先進各國との経済力の比較を説明した（成長率、インフレ、失業率等）。

○ 憲法改正の考えはない。以上が主旨であった。

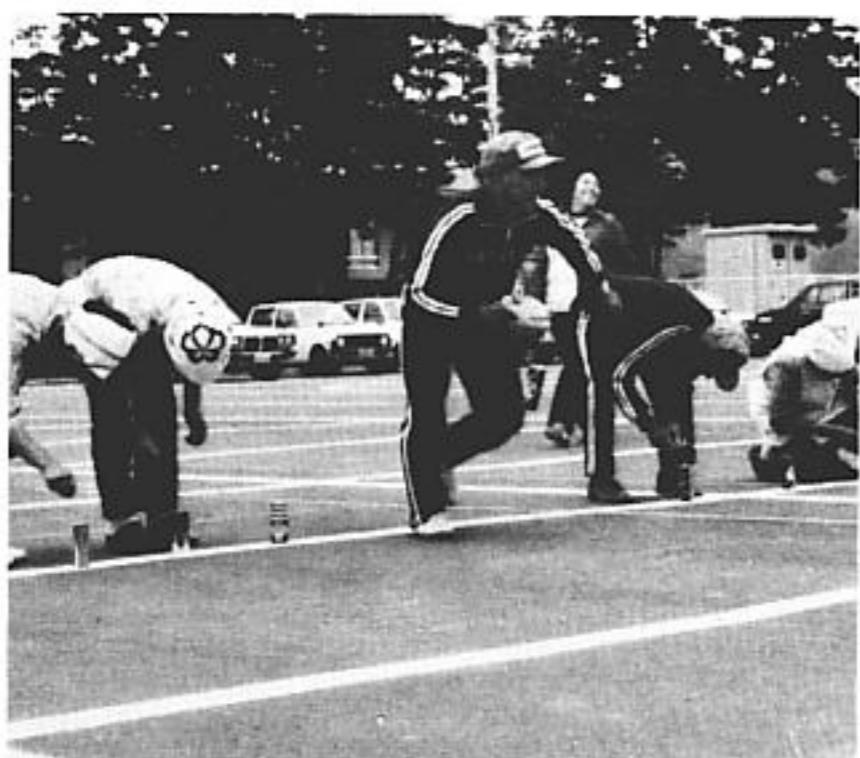
鈴木総理は、東北人らしく、かざり気がなく、国政の方針を具体的に話され、参会者に感銘を与えた。

町長日記

年度は一〇%増、国防費は九・七%増。

- 先ず第一に、政治に対する国民の信頼を回復しなければならない。金のかからない選挙、参議院の全国制度の見直し等。
- 財政を再建しなければならない。赤字国債の発行は、六〇年までにはゼロにしたい。本年（五五年）は国債発行を一兆円減らす。明年は経常経費の伸びはゼロ、政策的事業は七・五%増（本

- 先ず第一に、政治に対する国民の信頼を回復しなければならない。金のかからない選挙、参議院の全国制度の見直し等。
- 財政を再建しなければならない。赤字国債の発行は、六〇年までにはゼロにしたい。本年（五五年）は国債発行を一兆円減らす。明年は経常経費の伸びはゼロ、政策的事業は七・五%増（本
- 以上が主旨であった。
- 鈴木総理は、東北人らしく、かざり気がなく、国政の方針を具体的に話され、参会者に感銘を与えた。



▲ 缶つり競争…うまくつれましたのでお先に失礼します



▲ ワタシは応援の方で頑張ってます



▲ 満杯リレー…飲むのは簡単だが詰めるのはチト難しい

老らもハッスル

第1回ことぶき大学大運動会



▲ アベック競争…一本のヤクルトを二人で「なんとウマいヤクルトだこと」



▼ 「お二人さんどちらまで」「アベック競争に出るんです」



▲ ゲートボール…仲間の声援を受けてひと打ち「ボールよゲートを通過して！」



▲ ボール送り…勝敗は、このボールの行方によって決まる。まっすぐ転がって行け！と念じつつ……

元気はつらつ、老らも若い——九月十日、町民グラウンド、町開発センター駐車場を会場に第一回ことぶき大学大運動会が開かれました。当日は、町内十の老人クラブから百六十人余りが参加、満杯リレーやアベック競争など七種目に大ハッスル。和やかな雰囲気の中に、楽しい初秋の一日を過ごしました。

そんなおじいさん、おばあさんの“和”と“ファイト”を力メラで追つてみました。

尚、単位老人クラブ対抗種目には、大日向商会代表大日向貞弘氏（大琴）より優勝トロフィーが寄贈され、喜ばれました。

▶ 戰い済んで：帰つたら優勝トロフィーを囲んで、反省会は盛大にやるんだ。「ネエおじいさん」



地区全員が一役担つて

“こころ”の充実感を満喫

人々の心の中に理屈抜きに宿っていたはずの連帯感や信頼感は、多忙をきわめ、めまぐるしく変化し続ける現代社会の中で次第に薄れつつあると言われています。

薄れ、失われつつあるこれらの“こころ”を何とかして取り戻したい：そういう願望のもとに、社会教育の立場から、近年盛んにふるさと意識の高揚を銘うつた各種の運動が展開されております。

法内分館（阿部重助会長）

秋まつりのスナップから



信頼で築こう法内の郷……婦人たちの輪踊り



バチさばきもあざやかに……若妻たちの熱演



現代世相を巧みにとらえたコミカル劇「おらえの嫁コ」
若妻たちの演技に爆笑また爆笑



母さんやおばあさんたちに負けじと……子供たちも

が三年前から取り組んで来た秋まつりは、この運動の最大の一つに数えることができます。

九月十四日、旧法内小学校体育館を会場に開催された第三回秋まつりは、子どもから老人まで、地域住民それぞれが一人一役を担う形で参加、

つくり考えてみたいと思います。

趣向の演劇を発表

“連帯感”さらに強固に

—宿青年会—

宿分館の後援のもとに、宿青年会（神坂昌一会長）が九月十四日、新装の宿小学校体育館で開催した演芸会にも地

区民多数が参加、盛況をきわめました。

秋の一日を、無形文化財である猿倉人形芝居の鑑賞や青年たちが日頃取り組んで来た演劇等、趣向をこらした多くの発表で魅了された地区民たちは、いずれも満足しきった

芸術の秋にふさわしい発表会となつた同演芸会は、地域住民の連帯意識をさらに強固にし、和を深め合う絶好の機会教育の根源にある人々の心をうるおすという大きな成果を上げたものと関係方面から評価もなされています。



=宿青年会演芸会=
趣向こらしてトキオを歌う

連日連夜その企画と準備に奔走、この過程を通じて高め合つた地域の連帯感、自らが感じ、めくるめく感動に陶酔しながら確認し合つた充実感や信頼感の中にフィナーレを迎えた。

参加者の一人ひとりが、地域全体が、心の底から笑い惜しみない拍手が渦巻いたステージ部門の何コマから、いまわたしたちから薄れつつある“こころ”的本質は何か、じつくり考えてみたいと思いま



10月の公民館行事

【1日】中央地区社教主事会議（有鄰館）【4日】ふるさと運動青年リードー研修会（朋楽荘）

【14日】全県視聴覚教育研究会（本荘市）【16日】詩吟講座【17日】青少年劇場（東中）【19日】ふるさと運動親子共同活動交流会（秋田市）【20日】ことぶき大学（朋楽荘）

【29日】高校生をもつ親の会講演会（有鄰館）

この他書道クラブ毎週木曜、写真クラブ18日～26日など。

本町の社会教育は今後どうあるべきか：町教育委員会からの諮問に答えるため、町社会教育委員（川尻幾郎・中山精一・小野貞子・石渡力造・小松義嗣の五氏）が、この遠大な課題に取り組んでいます。委員たちの研究成果がまとめられた答申が出されると、これをうけて本町の中長期的な社会教育計画が策定される予定になつております。

答申には、これまでの公民館活動に反省や新たな取り組みを求められる内容が盛られることも予想され、分館関係者などから早くも期待と関心が寄せられています。



表彰状を手に喜びの

町交通指導隊長の大沼武且さん（41歳、大沼新田）は、長年にわたって交通安全のために尽力し、事故防止に貢献されたとして、秋の全国交通安全運動を前にした

大沼さんに交通栄誉章

秋の収穫の訪れとともに、
今年もまた出稼ぎのシーズン

このほか、町出稼ぎ相談所では、次のような点に心がけてほしいとしています。

▷ …出稼ぎされる皆さんへ… ◀

安全就労を第1に

就労前に必ず健康診断

がやつてきました。

今年は、戦後最大とも言われる冷害に見舞れ、出稼ぎされる方が増加すると見られています。事故もなく安全で有利な出稼ぎ就労をするため、出かける前にもう一度、就労先や就労条件などを確認し、本人も家族も安心した上で出かけるようにしましょう。

- がやつてきました。

今年は、戦後最大とも言われる冷害に見舞れ、出稼ぎされる方が増加すると見られています。事故もなく安全で有利な出稼ぎ就労をするため、出かける前にもう一度、就労先や就労条件などを確認し、本人も家族も安心した上で出かけるようにしましょう。

出稼ぎに行くときは、出稼互助会に加入し、必ず就労前に健康診断を受けるようにしてください。（未受診者のために町では、今月中旬にもう一度“健康診断”を実施する予定です。）

また、就労先がまだ決つていない方は、職安または町出稼ぎ相談所に相談してください。

○ 互助会へ加入する。

○ 就労する事業所が変ったり、住所が変つたりした時には、家族はもちろん役場にも連絡する。

○ 就労前と著しく条件が違う場合には、できるだけ早く職安や役場に連絡する。

○ 留守家族との連絡は密にして、営農に支障のないよう心がける。

○ 万一、病気や事故にあつた場合はできるだけ早く医師の診療を受けると同時に、役場にも連絡する。

○ 自分の健康状態をみながら決してムリ働きしない。

○ 就労するにはできるだけ

最低賃金一、五四五四

十月十一日から発効

県内で働くすべての労働者に適用する秋田県最低賃金が次のとおり一日二千五百四十

五円に改正されました。

これには、会社の保険証(エ
ピーでも可)、会社独自の
証明書、出かせぎ就労袋に
つて、証明書を利用す

社会保険に加入の際は扶養家族も一緒に会社の方へ申請して下さい。これには税務課の発行する扶養証明

その他注意事項

社会保険に加入したら

方へ社会保険適用の有無を
照会しておいて下さい。
**(持)保険証発行の申請に必
要なものは、国保の保険証
ハンコです。**

いますので、後日役場の方へ保険診療分（総医療費の七割分）を不当利得、又は不正利得として返還しなければならなくなります。

出
川
せ
ん
國
保

件 名	最低賃金額	効力発生日
秋 田 県	1 日 2,545円	55. 10. 11
最 低 賃 金	1 時 間 319円	

八八一六二一六六
八一ーにおたずね
ください。

届出は病院にも

届出が必要なのは役場の外に、かかりつけの病院の方へも同時にしなければなりません。これをしないで国保の資格を喪失後に受診されると病院の方では従来の国保資格のまま取り扱

場合は労働災害の適用を受けます。又、第三者によつて傷害を受けた場合（交通事故、ケンカ等）、国保は使えません。

老方 B (男子) が 優勝
蔵 (女子)

第1回バレーボールクラブ杯争奪戦



各チームとも白熱したゲームを展開

町バレーボールクラブ主催の第一回東由利町バレーボール（九人制）クラブカップ杯争奪戦は、九月八日から十三日の六日間、東由利中学校体育館を会場に行われ、一般男子九チーム、同女子三チームが参加して連日熱戦を繰り広げました。

試合は、仕事を終えた午後七時過ぎから九時過ぎまで毎夜、三セットマッチのリーグ方式によつて行われ、結果、男子は老方Bチーム、女子は

老方	B	老方	玉米
藏	玉	藏	米
老方	B	老方	玉米
藏	玉	藏	米
老方	B	老方	玉米
藏	玉	藏	米
老方	B	老方	玉米
藏	玉	藏	米
老方	B	老方	玉米
藏	玉	藏	米

蔵チームが初優勝を飾りました。
男子準決勝・決勝、女子リーグ戦績は次のとおりです。
（男子・準決勝）

畑村の由来は、山が川までせまり、水利の便も悪く田んぼが少ないので、畑作主体の農耕にならざるを得なかつたことから、畑をつくつて米のあまりとれない村（部落）、つまり畑村と呼ばれ、それが地名になつたのでないだろうか。

いつかの時代に分神してき
たので、立石神社と呼ばれ
ているのかも知れない。

余談だが小松篤さんの家
は畠村で古く、先年改築の
時家札かじさつが見つかり、寛永と
判読できた由。とすれば三
百余年、寛延か寛保だと約
百年あとに建てたことにな
る。篤さんの家は休憩所で、
殿様から拝領したとの言い
伝えで、槍と刀がある。往
時畠村は十数軒あつた由。

この間に打つと150円安くなる	配達して ほしい日	けしたいもので す。
一日前	お祝い電報は、	露宴等中央相談所”を開設し
二日前	図のように配達	広く県民の皆さんのが活用を望
三日前	してほしい日の	んでいます。
四日前	三日前までに打	・場所 秋田県環衛会館内(電
五日前	ちますと百五十	話○一八八一二三一八五
六日前	円の割引きにな	一一、秋田市千秋矢留町
七日前	ります。	一ノ一九)
八日前	電報は、希望	・相談の方法 電話・面接・
九日前	する配達日の十	書面、いずれでも良い。
十日前	日前から受け付	・面接の場合 毎週月・水
	けます。	金曜日の午後三時から
電報の発信は、		午後四時三十分まで

制度があります

会員制の結婚披露宴

あなたも資格を

通話料が先方払い
でかけられます

料金は、通話料に手数料と
て九〇円を加算し、後日差
入の方へ請求します。

お詫びと訂正
九月一日発行三〇六号の八
ページ「誕生おめでとう」の
記事中、「阿部嘉人 大琴
一久 長男」となっています
が、「阿部嘉仁 大琴 一久
長男」の誤りでした。
お詫びして訂正します。

昭和五十一年度後期の技能検定受検申請受付けは、十月一日から十三日まで、各地区の技能センター又は秋田県職業能力開発協会で行います。

※検定職種は

- 車両整備、農業機械整備、婦人子供服製造、和裁、建築大工、配管、型わく施工、鉄筋組立て、など二十九職種、三十五作業。

手続きや受検資格等、詳しいことは、次に照会してください。

旅行先や出張先から留守宅や会社などに連絡の必要が出来たとき、また学生さんが親元へ電話しようとするときの便利な利用方法として、料金無料で通話（コレクトコールサービス）を八月一日から開始しました。

お申し込みは一〇六番へ

ご利用の際には

- ・一〇六をダイヤルし、交換取扱者に自分の電話番号、タ

の地名

4

由利

畠村

畠村は舟木の下、杉森に通ずる赤い橋の反対山側の滝（境滝）と呼ばれ、本荘藩と矢島藩との境界をこの滝にしていた）までで、杉森字である。畠村だけの村高や各家の高の記録は見つからないが、元祿の頃には杉森郷全部で十九石余とあるから、田んぼや畠がいかに少なかつたかわかる。

線の上の方にあつて耕作されている。

この水田の上の方に、高さ数メートルの岩が孤立し馬頭観音を祀る立石神社がある。昔は祭りの日に近隣はもちろん、遠く平鹿方面からも訪れ、小屋がかかつたり、草相撲もあつたのことで、ここを通つて往来した旧道と考えられる。この石立観音は、茶屋長嶺をこえた矢島町立石の海喰に立石觀音が祀つてあつて、これも旧道の近くにあり、



子どもから大人まで約二百人が訪れ好評博した手芸作品二人展

文子さん 力作九十点を展示
主江さん 学習室を会場に「手芸作品二人展」を開き、好評を博しました。

まんづじょうずだゴドー！
今年成人式を迎えた渡辺主江さん（時雨山）と小野文子さんは、九月十三日と十四日の二日間、公民館学習室を会場に「手芸作品二人展」を開きました。

これは、成人に達した記念に、生涯学習の一環として取り組んでいる手芸作品を発表し、町民からの批評をいただくとともに、同好者を増やしたいため、町公館の協力を得て開いたものです。展示会場には、二人

阿部・小松・佐藤の三氏 知事から感謝状 社会福祉に貢献する——を統一テーマに、昭和五十五年度秋田県社会福祉大会が九月二日、秋田市の県民会館で開催され、席上、本町蔵の阿部寅静さん（66歳）、畠村の小松正慶さん（65歳）、下小路の佐藤貞さん（67歳）は、社会福祉事業功労者として、県知事から表彰状が贈られました。

阿部さんは、長年にわたり社会福祉施設の長として社会

香典返しとして、故長谷山平八氏のご遺族（宇戸坂、長谷山武三郎さん）より二万円、故阿部利七郎氏のご遺族（新田、阿部久孝さん）より三万円、故浅田廣司氏のご遺族（大琴、浅田竹広さん）より二万円、故畠山富男氏のご遺族（石高、畠山洋さん）より五万円が届けられました。

あなたも参加して！

町生活文化祭・農協祭

とき
ところ

11月1日～3日
開発センター・朋楽荘・公民館
ライスセンター

*詳しいことは別途チラシで

町民のひろば

町の概要

人口総数	6,383人
うち男女数	3,125人
うち世帯数	3,258人
面積	1,458戸
面積	148.51km ²
面積	(55.8.31現在)

が高校時代から心を込めて作ってきたというセーターや手袋、子供服、文化しゅう、ペーパーフラワー、小物入れ、クッション、タオルで作った人形など、色とりどりの作品約九十点が並べられ、観覧者は、それぞれ手の込んだ見事な出来ばえに目をみはっていました。

展示を終えた二人は、「三百

人の観覧者がきてくれば成功と思っていたが、倍の約二百人が足を運んでくれて本当にうれしい。大成功だ。会場を快く提供してくださった公民館の方々に心から感謝申し上げたい。まだまだ未熟な私達ですので、今後さらに勉強し、新しい部門にも取り組んでいきたい……」と話していました。

道路は、みんなが歩くところです。自分だけが利用する場ではありません。子供のころから、社会の一員としての自覚・公共心――を身につけさせたいものです。

その意味では、家庭での共同生活が、公共心のしつけに格好の場といえます。たとえば、玄関や台所、風呂場、トイレ、などは、家族みんなが共同で使うと

福社事業の推進に貢献してきた功績が認められたものであり、小松・佐藤さんは、民生児童委員として地域社会の福祉増進に貢献してきた功績が認められたものです。

故人のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

好評博した手芸作品一人展

文子さん 力作九十点を展示

主江さん 学習室を会場に「手芸作品二人展」を開きました。

まんづじょうずだゴドー！
今年成人式を迎えた渡辺主江さん（時雨山）と小野文子さんは、九月十三日と十四日の二日間、公民館学習室を会場に「手芸作品二人展」を開きました。

まんづじょうずだゴドー！
今年成人式を迎えた渡辺主江さん（時雨山）と小野文子さんは、九月十三日と十四日の二日間、公民館学習室を会場に「手芸作品二人展」を開きました。

道を歩いていますと、紙くずやタバコの吸いがら、タンなどがよく目にみはっています。

道路は、みんなが歩くところです。自分だけが利用する場ではありません。また、一步外へ出れば、公園や遊園地、公衆トイレ、駅を身につけさせたいのです。

この通り、決して自分だけが一人よがりに使用していい場所ではありません。あとから使う人のことを考えて、後始末をきちんとして、他人に対する思いや、ちょっととした心づかいこそ、みんなが気持ちよく生活するために欠かせない「潤滑油」であることを身をもつて体験させることができます。

公共心――社会の一員として――

家庭での共同生活を大切に

物には順序がある

われます。公共心はあるといふ筋道をわきまえさせるところに芽生えるといえます。

このようないい場所では、他人に迷惑がかからないように注意しながら、社会生活のあり方を学ばせることが大切です。

そのためにも、ふだんから、人に頼らず、自分のことは自

分でするという社会生活の基本を、家庭での日常を通して身につけさせるよう

したいものです。